

令和3年度 授業計画（シラバス）

科目名	基礎看護学実習Ⅱ	科目区分	専門分野1	授業の方法	実習
対象学年	1学年	単位(時間)	2(90)	開講時期	1年後期
担当教員： 上田 麻衣 実務経験のある教員による授業 <input checked="" type="checkbox"/> 看護師として看護業務に携わった教員が教授している。					
《科目目標》 患者の思いを引き出きだすことを意識したコミュニケーションを実施する。 日常生活援助をとおして患者を捉え、患者の気持ちや思い（ニーズ）を踏まえて必要な看護援助を考える。 実施した援助が、患者にとってどのような影響があったか多角的に考える力を身につけ、看護の「個別性」とは何かを理解する。 看護理論を用いて患者を看ることにより、看護の視点やものの見方・考え方を理解する。					
《成績評価の方法》 実習評価表に基づき評価する。					
《使用教材（教科書）及び参考図書》 人体の構造と機能・疾病と治療・薬理学・基礎看護技術などの講義で使用した教科書 参考書・資料					
《授業外における学習方法》 実習に関連する講義の内容を振り返り、理解する。 基礎看護技術の講義で既習している看護技術は、積極的に練習する。					
《履修に当たっての留意点》 実習オリエンテーションの内容について理解し、主体的に実習に臨む。 臨床現場でしか学べない多くの知識・技術・態度を身につけられる機会となるため、実習に参加できるよう健康管理に留意し臨む。					
実習プログラム					
実習期間	1学年後期				
時間数	合計90時間				
実習内容	1. 人間関係が築けるようなコミュニケーションができる 2. 看護の視点を意識したコミュニケーションができる 3. 患者の健康障害を知る 4. 患者のバイタルサインが測定できる 5. 患者の全体像をとらえ、必要な看護を考える 6. 患者に必要な看護援助ができる 7. 自分自身でリフレクションできる 8. 看護に対する自分の考えを相手にわかりやすく伝えられる 9. 看護専門職者として望ましい態度を身につける				